

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	18	学校名	仙台市立西多賀小学校	校長名	三浦 洋太
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

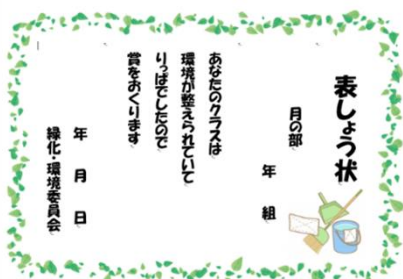
「西多賀小学校の校内と花壇をきれいにしよう」



2 取組の紹介

① 校内環境チェック

校内の環境チェック緑化・環境委員会は月1回校内環境チェックを行っています。全クラスのごみの分別、掃除ロッカーの整理、机と机のフックの整理、雑巾の掛け方、ロッカーの整理、廊下のフックの掛け方の計6項目を1～3点で評価し、16点以上のすべてのクラス賞状を送ることで教室環境をより良くしようという意欲を高めています。また、校内環境チェックの前に事前の放送やチェック項目に関する動画を流し、視覚的にもどのように整理整頓すればよいのか分かるようにしています。



② 花いっぱい運動

緑化・環境委員会とPTAの連携行事として「花いっぱい運動」を夏・秋の年2回行い、当運動では、学校の花壇に球根や苗を植えました。校庭で遊んでいる児童は誰でも参加してよいこととし、委員会以外の児童も活動に参加するなど、学校全体で緑化活動を行いました。また、今年度も委員会の6年生が近隣の中学校で行われた「花いっぱい推進事業」に参加し、中学生と花の苗植えを行いました。花いっぱい運動で植えた苗や球根の水やりを委員会の中で分担して行っています。



③ ごみの分別

全校の各教室で、燃えるごみとプラスチックごみの二つのごみ箱と古紙回収箱を設置し、ごみの分別を行っています。三つの箱の近くには何が何ゴミなのかという分別の仕方がイラスト付きで分かりやすく掲示されており、全学年で分別しやすい環境が整っています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

校内環境チェックでは放送を聞き、次回は16点以上を取ろう、満点を取ろうなどの声が聞こえてきました。また、緑化・環境委員会などがクラスの児童に呼びかけを行うなど、教室環境を改善しようとする姿が見られました。「花いっぱい運動」では苗や球根を植えて終わりではなく、その後も水やりなど、自分たちの手で育てていこうとしていました。日々の活動により、緑化環境に対する意識が高まっていると考えられます。